

12月6日・パシフィコ横浜 初の共同開催

## 日本看護サミット2019 訪問看護サミット2019

～全国から3,000人の看護職が参集～

公益社団法人日本看護協会（会長・福井トシ子、会員74万人）と公益財団法人日本訪問看護財団（理事長・清水嘉与子）は12月6日（金）に、「日本看護サミット2019・訪問看護サミット2019」をパシフィコ横浜（横浜市）で開催いたします。

今回のテーマは「看護が創造（つく）る 地域の未来～つなげよう！ 166万人の看護の力～」です。2025年が目前に迫る中、医療機関、訪問看護ステーション、介護福祉施設、教育機関や行政など、あらゆる場の看護職166万人の力を結集し、地域の未来に向けた看護を切り開くためのプログラムをご用意しています。

つきましては、ぜひ貴媒体でもお取り上げいただきたく、取材にお越しいただけますと幸いです。別紙の申込用紙のFAX、またはEメールでお申し込みください。

### ◆開催概要◆

【日時】12月6日（金）10:00～17:00

【会場】パシフィコ横浜 国立大ホール（横浜市西区みなとみらい 1-11）

#### 【主なプログラム】

10:00～10:45 開会あいさつ、開会宣言 など

10:45～11:15 【解説】地域包括ケアと看護をめぐる現状と課題～166万人で地域の看護提供体制を実現  
齋藤訓子（日本看護協会副会長）

11:15～12:15 【特別講演】未来の看護に望むこと 安藤和津氏（エッセイスト、コメンテーター）  
〈座長〉佐藤美穂子（日本訪問看護財団常務理事）

13:15～14:15 【鼎談】超高齢・人口減社会に期待される新しい看護の形  
石田昌宏氏（参議院議員）、鈴木康裕氏（厚生労働省医務技監）、辻哲夫氏（東京大学高齢社会総合研究機構特任教授）、〈座長〉井伊久美子（日本看護協会副会長）

14:25～16:45 【シンポジウム】今、看護が創造（つく）る地域包括ケア

〈趣旨説明〉岡島さおり（日本看護協会常任理事）

村田昌子氏（北茨城市民病院副院長）、久保幸氏（愛媛大学医学部附属病院看護部長）、棚橋さつき氏（高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科在宅看護学教授／高崎健康福祉大学訪問看護ステーション統括マネージャー）、平原優美氏（あすか山訪問看護ステーション統括所長）〈座長〉嶋田晶子氏（熊本県看護協会会長）、山岸暁美氏（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室講師／在宅看護専門看護師）

## News Release 取材のお願い

報道関係者各位

公益社団法人 日本看護協会 広報部

2019年11月20日

日本看護協会 広報部 宛

(FAX:03-5778-8478/Eメール:koho@nurse.or.jp)

☆ 12月4日(水)12:00までにご連絡をお願いします。

### 日本看護サミット 2019・訪問看護サミット 2019 取材申込書

【日時】12月6日(金) 10:00~17:00

【会場】パシフィコ横浜 国立大ホール (横浜市西区みなとみらい 1-11)

媒体名	
御所属	
お名前	
TEL	
Eメール※	
撮影有無	<input type="checkbox"/> スチールカメラ          台 / <input type="checkbox"/> ムービーカメラ          台 <input type="checkbox"/> 撮影なし